

こわかった中越地震

小川 智紘

1
十月二十三日、午後五時五十六分、ものすごい音とゆれがおそった。私は遊びから帰ってきてひと休みしたところだった。こたつにもぐった。たしゅんかんいきなり大地震がおそってきた。おとうとは、
「キャー」
とさげんだ。それから地震が少しおさまっ

2
たらまどから外に出て車の中で2日すごした。車の中に三けんいっしょにねたのでともせまかっ。た。よしんがよなかもつづいたのでよくねむれなかつた。

地震から三日目の朝、ヘリコプターで長岡にひなんすることになった。私は、山古志がキケンでも山古志に残りたかつた。リュックにふくなどを入れてヘリコプターに乗った。へ山古志はどうなるんだろう？これからどこに行くんだらう？私はふあんになった。

いたのは大手高校だった。大手高校に入った
ら友だちがいた。友だちもたすかったんだ。
よかったと思っただ。それからバスでけさじ
ろに行っただ。けさじろについたら食料をもら
った。小さいおにぎり1こと500mlの水
をもらった。ほとんど何も食べていなかった
ので足りなかった。でもみんなも同じだと思
うからがまんした。三日くらいたつとポラン
テイアの人たちが来てくれた。公園につれて
いっくれたりごはんを運んだりしてくれ
た。

みさしぶりにそとで遊べるとも気持ちよか
った。

また大手高校に行っただ。じえいたいの人た
ちがおふろやごはんのようになどやってくれ
た。ごはんがとてもおいしかった。

ポランテイアの人たちやじえいたいの人た
ちがいりいらたすけてくださったので私たち
は今元気に過ごしています。私もしゅうらい
いえないたいに入って被害にあつた人たちを
すけてあげたいです。